



©JFA/PR



VOL.42 2022.9.16

普及コーディネーター取り組み事例紹介①

滋賀県

吉田 知世さん

【中学校年代への取り組みについて】

県内のクラブチームは、熱心な指導者が多く、なでしこひろばやフェスティバル、サッカー教室などを積極的に開催してくださっています。女子選手登録者数が年々増加しているのは、尽力していただいているおかげです。

昨年、滋賀県中体連サッカー部に所属する女子選手の人数調査をしたところ約15名在籍していました。高校でサッカーから離れる選手が多い

ことから、高校年代でもサッカーができる環境を知ってもらうために、中学生・高校生年代女子サッカーの普及を目的とするためフェスティバルを企画しました。しかし、コロナ感染拡大のため中止となり、まだ開催できていない状況です。今後、各年代のフェスティバルを開催していき、年代が変わっても女子サッカーと関われる環境をつくりたいです。



©JFA

【ガールズゲームへの取り組みについて】

滋賀FAではガールズゲームを4種で運営していただいております。昨年度は6チーム参加だったのが今年度は8チームの参加がありました。新チームの参加もあったと伺っています。今後、より多くの女子選手に女子同士でのサッカーを経験することで、継続してサッカーを続けていく意識の醸成が図れる環境づくりを目指していきます。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

例年、FC BASARA 甲賀レディースのTOP選手・スタッフ中心にサッカー教室を開催していただいております。2月の寒い時期に行った時、着ていた上着を脱ぐ子が出るくらい、本気で楽しむ参加者たちがいたと報告を受けました。県内トップレベルの選手たちと出会い、女子サッカーを知る機会をつくってくださり普及として感謝しています。今後、幼・小・中・大・ママさんのさまざまな年代が集うような場がつかれるように計画していきたいと考えています。

【今後の目標】

今年度コロナ感染第7波に伴い、フェスティバル事業が例年に比べ開催できていない状況ですが、落ち着き次第さまざまな年代のフェスティバルを開催していきます。そして、昨年度同様、普及事業・フェスティバルを通して、身近な環境で女性がサッカーを始めることができる環境や長くサッカーに関わることができる環境づくりを行い、他種別や地区と連携して、女子サッカーの認知をはかっていきたいです。



普及コーディネーター取り組み事例紹介②

京都府

樹山 和浩さん

【中学校年代への取り組みについて】

中学生年代の女子選手にスポットをあて、京都府サッカー協会の事業として3年目を迎えました。

1. 女子選手の交流と技術力の向上を目指し、日々の活動目標として位置づけること。
2. さまざまなカテゴリーの女子選手や指導者と関わることで、中学生女子選手が今後もサッカーを続けていける環境をつくりだすこと。

2022年度より、年間10回程度の練習会やフェスティバル、イベントへの参加を定期的に行い女子選手のサッカー意欲を高めながら普段のチームでは経験できないことを体験してさらに友だち、サッカーが大好きになれるよう活動していきたいと思っています。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

正直、協会あげてのガールズゲームの開催はできていないのが現状である。年間を通じて計画的に開催していく必要がある。4種委員会内のガールズ担当において各地域選抜チームとして交流戦などを行っている。取り組んでおられる事を整理してよりよい環境を提案していきたい。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

今年度、JFAファミリーサッカーフェスティバル開催FAに選出され、京都FAとして事業委員会、4種委員会、キッズ委員会、女子委員会とプロジェクトチームを発足してオール京都で取り組んでおります。JFAファミリーサッカーフェスティバルを皮切りに、カテゴリーにとらわれずサッカーを始めるきっかけ作りの場を拡大していきたいと思います。JFAファミリーサッカーフェスティバルのノウハウを生かして、京都FAオリジナルな女子サッカーフェスティバルを3月に開催していく事を進めております。

【今後の目標】

サッカーとの最初の出会いが、特に女子選手においては、重要な事のように思える。日常で家族とボールに触れられる環境をどう拡大していくかが京都においては課題である。

初めての体験から、スクール、クラブ加入に至るまでのストーリーを調査し、ガールズゲームを定期的に行い選手育成の育成段階を把握しながら競技性においても自分の成長やみんなで達成感、楽しさを感じられるような選手育成に全力で取り組んでいきたい。

普及コーディネーター取り組み事例紹介③

大阪府

藤井 茂幸さん

【中学校年代への取り組みについて】

今年度は女子委員会の年間計画の中に中学生年代の活動を取り入れました。年3回の活動で、1回目は6月25日、2回目は7月10日、3回目は9月10日にそれぞれJ-GREENにて開催です。1回目は園児から中学3年生まで募集して昨年度同様のフェスティバル形式で園児・低学年と高学年・中学生の2カテゴリーに分けて、それぞれ約50名の参加者で行いました。2回目は中学生のみでクリニック形式で定員40名でインストラクターに加藤賢二氏 [JFAコーチ関西女子担当]に来ていただいて行いました。1、2回目共に普段は中学校の部活で男子生徒と活動している女子が多くいて、女子だけの活動で大変刺激があるように感じました。小学生の高学年とコラボの活動は中学生年代での活動継続にとっても大事です。引き続き、協会としてこのような活動を、告知も含めて継続して行うこと、顧問の先生つながりなどで広げていくことも重要だと思います。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

昨年度は25チームが参加、約250名の女子選手が出場していました。上位7チームが関西大会に出場とあって選手のモチベーションも高い大会です。ただ時期的に4種の全日本U12少年サッカー大会大阪府予選の地区大会やU11の大阪府予選、4種リーグなどが多く入っていて、合同チームでは5、6年生の女子選手が出場しにくいものとなっています。ガールズゲームは二日間なので、その日程だけ空けてもらって「U12女子サッカーの日」にしてももらって技術委員会スタッフで視察して選手の発掘も同時に行えるようにと理事会と技術委員会で資料を出して提案しました。実際のところは施設確保やスケジュール管理が大変だということでハードルが高いですが課題を共有できたことは意義があったと思います。今年度は10月22日と29日になりました。コロナ禍とあって他種別の大会も過密となり昨年度同様の形式ですが引き続き多くの女子選手が参加できるように工夫したいと思います。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

OFA女子サッカーデー2022として新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底して3月26日J-GREENにて行いました。園児から小学生のガールズの部ではセレッソ大阪スクールコーチとスペランツァ大阪選手によるクリニックを行いました。中学生以上のレディースの部ではゲーム形式中心のフェスティバルを行いました。どちらにも女子高校サッカー部の学生が補助として関わる形で経験の浅いガールズの部に参加する女の子も笑顔でサッカーを楽しんでいました。閉会式ではお楽しみ抽選会もあって大いに盛り上がりました。またイベント終了後には希望者全員に隣接のメインフィールドにて行われる「なでしこリーグ／スペランツァ大阪vsセレッソ大阪堺レディース」戦を観戦いただきました。女子サッカーに関心を持った子どもたちがなでしこリーグを観戦するいい行事になりました。



【今後の目標】

7月16日にヨドコウ桜スタジアムにて

JFA Magical Field Inspired by Disney ファミリー

サッカーフェスティバル” First Touch” を開催し、

小学1、2年生の女子50名がサッカーに出会いました。

その子たちの次の機会を作ることも大事です。様々な

女子サッカーの機会が出来てきました。途切れることなく

継続していくこと、アンケートなどで求められている

ことにも向き合いながら関わる方々が女子サッカーの

状況を共有しながら、活動の中身を高めていくことも大事です。女子は小中や中高など種別を跨った

活動がしやすいと感じます。とても強みです。そのことで指導者間でつながりができたり、見ている

保護者方も先の姿を想像しやすく、とても好感の持てる行事になりますね。今後は行事と行事を質を

高めて、つないでいくことも考えながら取り組んでいきたいと思います。



普及コーディネーター取り組み事例紹介④

兵庫県

加治 真弓さん

<テーマ：指導者のつながり（各年代の連携）>

【中学校年代への取り組みについて】

神戸市立中学校・義務教育学校女子サッカーの活動は今年も継続して行われ、月2回のペースで20回の活動が行われる予定である。男子と一緒に活動している選手が、たくさんの女子選手と交流できる場は貴重な経験になっており、U12やU18の選手との交流にも今後つなげていきたい。また、中学校女子サッカーフェスティバルがきっかけになり、兵庫県中体連委員長が、中学校の男子と一緒に活動している女子選手に呼びかけ「HYOGO JHS FOOTBALL ACADEMY GIRLS」の活動が始まり、高校生になってもサッカーを続けていく意欲にもつながっている。今後、この2つの活動がますます広がっていくように指導者との交流を持ち、選手たちも交流できるように働きかけていきたい。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

ガールズゲーム関西には8チームが兵庫県から出場している。23チームが参加し兵庫県の予選（兵庫県小学生女子サッカー大会）が行われている。チームの形態は、4種チームに所属している女子選手で構成されたチームや女子の単独チームなど様々である。いろんな女の子がガールズゲームに参加できるように各指導者が頑張って活動している。私自身まだまだ勉強不足なので、少しずつ関わりを持ちたいと考えている。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

何を行うことが女子選手にとっていいことなのか、指導者の話し合いが行われている。具体的にはまだこれというものははっきり決まっていないが、U12からU15そしてU18へと各年代選手が集まり、ゲームを中心に行うことで交流を図り、次の年代でもサッカーをやめずに続けていってもらうため、保護者も含めて、いろんな選択肢を知ってもらうことが必要なのではないか。また、各年代のトレセンチームとのゲームを行ってはどうか。キッズを中心にまだサッカーをやっていない子どもたちも集めてのサッカーフェスティバルのようなことはどうかなどの様々な意見があり、検討中である。

【今後の目標】

10月6日になでしこジャパンの国際親善試合があり、そのレガシープログラムとして6月12日に「未来のなでしこ全員集合！親子サッカー体験会」が行われた。このレガシープログラムを開催するにあたり、兵庫県サッカー協会と4種委員長、副委員長、4種女子部長、キッズ委員長、副委員長、4種技術委員長、JFA指導普及部グラスルーツ推進グループなどたくさんの人々が集まり、4回のオンライン会議を重ね検討が行われた。当日は、サッカーをまだチームに入っていない親子が集まり、ノエビアスタジアムの芝生の上でサッカーを楽しんだ。このように、今後たくさんの指導者が女子サッカーをどう盛り上げていくかを話し合う機会を作り、女子サッカーがますます発展するように活動していきたい。



普及コーディネーター取り組み事例紹介⑤

奈良県

佐伯 博光さん

【中学校年代への取り組みについて】

サッカーの楽しさを感じてもらうため、ガールズフェスティバルを通して働きかけを行いました。6月5日に実施したガールズフェスティバルでは、幼稚園・小学生・大人に加え、中学生年代でも募集を行い、従来のフェスのメニューに加え一般社団法人3x3FOOTBALL連盟の協力を得て3x3FOOTBALLを行いました。少人数でも同年代とプレーできる3x3を楽しんでいました。

また、トレセン活動では中学校サッカー部に属する選手の参加も徐々に増えてきています。選手の継続的な参加を実現する環境をつくるため、女子選手のいる中学校との繋がりを積極的に取っていきたいと考えています。



【ガールズゲームへの取り組みについて】

これまで行ってきた関西の少女の大会として、ガールズゲームを捉えています。この大会に出場する2チームを決めるため、県予選として昨年は6チームでのリーグ戦を行いました。

今年も9月に予選を行う予定ですが、昨年同様6チームの参加する大会となります。以前は、3～4チームの参加でしたが、徐々に参加チーム数が増え、ここ数年6チーム参加で安定しています。これは、女子チームの大会として認識されてきたこと、そして合同チームとしての女子チームへの参加の認識が広がってきたことが上げられると思います。ガールズゲームへ参加することで、色々な地域のチームと対戦できる機会、また出場機会を確保できる大会として、今後も取り組んでいきます。

【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

昨年もコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、幼児から大人までの女性が約80名の参加と中学生から大人と2部構成で、サッカーを楽しめる場として開催できました。

午後の部へ参加し中学生は6名、高校生は5名、大学生を含む大人は16名でした。1つ目の課題に上がっているように、やはり中・高生の参加人数が少ない状況でした。今年は、広報を早めに出す、女子選手の在籍する中学校・高校に、直接働きかけるなどの取り組みを行いたいと考えています。



【今後の目標】

コロナ禍でここ数年実施できていない、小学生年代を対象としたクリニックを数回でも良いので、開催できるよう考えています。

どうしても、小・中・高と進むにつれ、県外へ出る選手も含め大きく人数が減ってきます。今年度から始まった少女国体、そしてプレリーグを経て始まった関西U16女子トレセンリーグも選手確保が大きな問題でした。他府県と比べサッカー人口の少ない奈良県では、まず底辺を広げるためのクリニックやフェスティバルを使った小学生年代への働きかけ、そこではチームに所属していない小学生の獲得も目指したいと考えます。その上で、中学年代・高校年代への橋渡しが目標です。

また、競技だけではなく、生涯スポーツとして楽しめるサッカーを目指し、フェスティバルや女子サッカーデーを活用できればと思います。

普及コーディネーター取り組み事例紹介⑥

和歌山県

日高 安啓さん

【中学校年代への取り組みについて】

中体連に所属している選手へのアプローチとして、和歌山県内で2種、3種男子を対象に、毎年年末に行われている和歌山県サッカーフェスティバルに、2021年度初めて「女子中学生の部」を設けました。大阪からチームを招待し、和歌山県からは「女子」「3種」「中体連」に所属している県内女子中学生が集まり、合同チームで2チームが参加しました。初めての試みでしたが、参加した選手たちが、楽しく全力でプレーしている姿が印象的でした。今後も継続していきたいと思います。

【ガールズゲームへの取り組みについて】

和歌山県では、4種のカテゴリーに女子単独のチームがないため、例年トレセン活動をベースとした合同チームで参加しています。最近では、本大会に参加したいという選手が増えてきており、4種と連携しながら、今後は単独チーム、もしくは、近隣のチームの選手同士の合同チームで参加できるように取り組みを行っていききたいと思います。



【JFA女子サッカーデーへの取り組みについて】

女子サッカーデーについては、和歌山県全体で盛り上げるべく一か所で実施すべく準備をしています。和歌山県全域なると地域が広いため、北部・中部・南部と各地域で同日に行うことも考えており、よりたくさんの人に参加してもらえるような女子サッカーデーにできるように準備を進めています。

【今後の目標】

これまで和歌山県では、女子選手の拡大に向けて、ガールズフェスティバル、スクール活動などの普及活動に注力していました。2019年4月に強化として国体少年女子創設に向けたアカデミー活動を開始しましたが、現状では選手確保のための普及の域から強化への移行がまだできていません。今後は、各種別の連携・協力のもと、普及と強化を一体的に推進することにより、和歌山の女子サッカーをさらに盛り上げていきたいと考えています。



2022プレナスなでしこリーグ 1部

■順位表 (第16節終了時点)

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	伊賀 F C	38	16	12	2	2	26	10	16
2	S世田谷	34	16	11	1	4	30	10	20
3	C大阪堺	32	16	10	2	4	40	18	22
4	オルカ	29	16	9	2	5	15	9	6
5	Aハリマ	25	16	7	4	5	30	19	11
6	名古屋	25	16	7	4	5	18	17	1
7	S日体大	22	16	7	1	8	12	21	-9
8	パニーズ	20	16	6	2	8	18	30	-12
9	ニッパツ	17	16	4	5	7	16	19	-3
10	スベ大阪	12	16	2	6	8	11	27	-16
11	愛媛 L	10	16	2	4	10	14	24	-10
12	アンジュ	7	16	2	1	13	7	33	-26

■上位チームの今後のスケジュール

NL1部	節	伊賀 F C	対戦	会場	S世田谷	対戦	会場	C大阪堺	対戦	会場
9/3 (土)、9/4 (日)	16	38	C大阪堺	JG堺S1	34	S日体大	ニッパツ	32	伊賀 F C	JG堺S1
9/10 (土)、9/11 (日)	17	41	スベ大阪	ロート F	37	ニッパツ	味フ西	35	愛媛 L	愛媛球
9/17 (土)、9/18 (日)	18	44	愛媛 L	愛媛球	40	C大阪堺	JG堺S1	38	S世田谷	JG堺S1
9/24 (土)、9/25 (日)	19	47	名古屋	高岡コア	43	愛媛 L	味フ西	41	パニーズ	前橋総合
10/1 (土)、10/2 (日)	20	50	S世田谷	未定	46	伊賀 F C	未定	44	オルカ	鴨陸
10/8 (土)~10/10 (月)	21	53	パニーズ	上野	49	オルカ	A G F	47	スベ大阪	ヨドコウ
10/16 (日)	22	56	Aハリマ	ウインク	52	パニーズ	敷島	50	アンジュ	ミットヨ



2022プレナスなでしこリーグ 2部

■順位表（第16節終了時点）

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	静岡	36	15	11	3	1	28	13	15
2	a c 福島	34	15	10	4	1	41	15	26
3	大和S	30	15	9	3	3	34	18	16
4	D R 広島	23	15	6	5	4	21	14	7
5	福岡AN	15	15	4	3	8	13	22	-9
6	吉国大C	15	15	3	6	6	12	22	-10
7	N O R D	14	15	3	5	7	12	23	-11
8	つくば	13	15	2	7	6	12	25	-13
9	V 三重	11	15	2	5	8	12	17	-5
10	湯郷ベル	10	15	1	7	7	13	29	-16

■上位チームの今後のスケジュール

2部	節	静岡	対戦	会場	a c 福島	対戦	会場	大和S	対戦	会場
	15	36			34			30		
9/24(土)、9/25(日)	16	39	V 三重	アサスタ	37	大和S	大和	33	a c 福島	大和
10/1(土)、10/2(日)	17	42	D R 広島	ゆめりあ	40	つくば	時之栖裾	36	吉国大C	大和
10/9(日)	18	45	吉国大C	高梁神原	43	V 三重	アサスタ	39	N O R D	札幌厚別



2022プレナスなでしこリーグ2部入替戦予選大会

【組み合わせ決定】

Aグループ

チーム名 **A** エナジック琉球デイゴス（沖縄）

B SEI SA OSAレイア湘南FC（神奈川）

C FCふじざくら山梨（山梨）

D 北海道リラ・コンサドーレ（北海道）

9月22日（木）【1日目】		うさぎ島4グラウンド（人工芝）	
11:00	R 湘南	B 対 D	リラ
14:00	デイゴス	A 対 C	山梨

9月23日（金祝）【2日目】		うさぎ島4グラウンド（人工芝）	
11:00	リラ	D 対 A	デイゴス
14:00	R 湘南	B 対 C	山梨

9月24日（土）【3日目】		うさぎ島4グラウンド（人工芝）	
11:00	山梨	C 対 D	リラ
14:00	デイゴス	A 対 B	R 湘南

9月25日（日）【3位、4位 順位決定戦】		うさぎ島4グラウンド（人工芝）	
10:00	Aグループ 2位	対	Bグループ 2位

Bグループ

チーム名 **E** レノファ山口FCレディース（山口）

F FC今治レディース（愛媛）

G ヴィアマテラス宮崎（宮崎）

H ディオッサ出雲FC（島根）

9月22日（木）【1日目】		うさぎ島5グラウンド（人工芝）	
11:00	FC今治	F 対 H	D 出雲
14:00	レノファ	E 対 G	宮崎

9月23日（金祝）【2日目】		うさぎ島5グラウンド（人工芝）	
11:00	D 出雲	H 対 E	レノファ
14:00	FC今治	F 対 G	宮崎

9月24日（土）【3日目】		うさぎ島5グラウンド（人工芝）	
11:00	宮崎	G 対 H	D 出雲
14:00	レノファ	E 対 F	F C 今治

9月25日（日）【1位、2位 順位決定戦】		うさぎ島4グラウンド（人工芝）	
13:00	Aグループ 1位	対	Bグループ 1位

「大会日程」

○期日：2022年9月22日(木)～9月25日(日)

○会場：静岡県 時之栖スポーツセンター うさぎ島グラウンド

「2022 プレナスなでしこリーグ2部入替戦」出場チーム数の決定について

○入替戦出場チームは本大会1位、2位、3位の計3チーム。

「2022 プレナスなでしこリーグ2部入替戦」について

○なでしこリーグ2部（以下「NL2部」という）の10位チームと予選大会1位から3位の計4チームが1回戦総当たりの入替戦を行う。

上位3チームがNL2部へ残留または参入の権利を得る。

なでしこリーグビジョン・ステートメント発表！！

なでしこリーグは、設立以来30年以上にわたり日本女子サッカー界をけん引してまいりました。そのような中、2021年に日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）が開幕し、なでしこリーグのポジションは最高峰のアマチュアリーグとなりました。

なでしこリーグは、これまで築き上げてきた歴史を継承しつつ、さらに魅力的なリーグに発展させていきたい、というなでしこリーグに関わる人々の思いを象徴するビジョンとステートメントを作成いたしました。

なでしこリーグは、「普及」「地域」「多様性」をキーワードに、女性が人生の様々なステージにおいてサッカーとともに活躍できるリーグを目指していきます。

そのサッカーは、地域を愛し、愛されるシンボル。

そのサッカーは、ひとりひとりの夢が叶えられる場所。

そのサッカーは、勝利を追求する。

そして、それを超えた価値をも追求する。

それが、なでしこリーグ。

はじめてボールを蹴った

あの日の胸の高鳴りをそのままに

自分が選んだ道をひたむきに

走り続けること。

その先には、性別や年齢に関係なく、

生涯を通じて自分が選んだことを

続けられる未来があると信じて。

私たちは、サッカーを愛する誰しものが、

サッカーと共に生きられる世界をつくっていきます。



サッカーと 幸せになる。 なでしこリーグ

一般社団法人日本女子サッカーリーグ

なでしこリーグ
VISION

なでしこリーグには、
地域を愛し、
地域に愛される人がいる。

なでしこリーグは、
ひとりひとりのサッカーを叶え、
未来を切り拓く場所。

なでしこリーグとは、
サッカーと
幸せに生きること。



なでしこリーグHP コラム連載更新！



伝統を引き継ぎ「**なでしこ**」の名に込められた
選手の魅力を探ります。

様々な挑戦をしている選手たちに
ぜひ注目してください。

コラムのリンク先は[こちら](#)

⑨朝倉 加奈子 (S日体大・MF)

「学業との両立で忙しくも
充実した毎日を走って…」



⑩横山 亜依 (愛媛L・MF)

「ピッチに立ち続ける理由」



日本全国
なでしこリーグの
街を訪ねて

ディアヴォロッソ広島 編



女子サッカーで「筆の町」に明るい未来を描きます。

～ディアヴォロッソ広島編～

なでしこリーグでは、2022年4月から1年間の任期で松下政経塾42期生の大瀧真生子さんをインターンとして受け入れています。大瀧さんは、スポーツ界におけるジェンダー格差や日本社会における女性活躍などについて研究してきました。これまでの研究成果や知見を活かし、なでしこリーグだけでなく、WEリーグの業務に取り組んでいます。

そこで、今回は、インターンの視点から見た女子サッカーとなでしこリーグについて大瀧さんのレポートを紹介いたします。

インターンだより

はじめまして、私は4月からなでしこリーグ事務局でインターンを行っております、松下政経塾42期の大瀧真生子です。今年4月からWEリーグ/なでしこリーグ事務局でお世話になっています。

初めて試合を見に行ったあの日、なによりも女子サッカーって面白い！と自分の先入観をひっくり返されました。そして、当たり前のように選手たちが自らサポーターに近づいてきて、満面の笑みでサポーターへ手を振ったり声を掛け合う距離の近さにもとても驚かされました。

この選手たちの温かさというのは男子選手にない長所である、と頻繁に耳にします。熱い気持ちにも温かい気持ちにもなれるという、女子サッカーの価値を実感した1日でした。

その一方で、女の子がサッカーをする場所がないという課題は未だ存在します。

今後学校数の減少や部活動の地域移行により、子どもたちのスポーツを支えるのは、学校ではなく地域の役割となるでしょう。地域に愛されている歴史あるなでしこリーグのチームだからこそ、その役割を担うことで、好循環を生み出す地域の軸になることができるのではないかと考えています。

女子サッカーにはまだまだ可能性が秘められていると信じています。来年3月までの短い間ですが、女子サッカーの面白さをより引き出せるよう、インターンという立場から多くのことを考えてまいります。



JFA U-18 女子サッカーファイナルズ2022



JFA U-18 女子サッカーファイナルズ 2022

JFA U-18 女子サッカーファイナルズ 2022 開催！！
9月17日(土)、19日(月・祝) サンガスタジアム by KYOCERA

全国高等学校体育連盟の所属チームと、日本クラブユースサッカー連盟の所属チームが対戦し、U-18 年代女子チームの真の日本一を決定する「JFA U-18 女子サッカーファイナルズ」を下記の概要で開催します。

近隣の方はお誘い合わせの上、是非現地にてご観戦ください！

遠方の方は JFATV での LIVE 配信を予定しておりますので、そちらをご視聴ください！

《JFA U-18 女子サッカーファイナルズ 2022》

■出場チーム

- 大商学園高校（大阪／令和4年度全国高等学校総合体育大会 優勝）
- 十文字高校（東京／令和4年度全国高等学校総合体育大会 準優勝）
- セレッソ大阪堺ガールズ（大阪／XF CUP 2022 第4回日本クラブユース女子サッカー大会（U-18） 優勝）
- JFA アカデミー福島（静岡／XF CUP 2022 第4回日本クラブユース女子サッカー大会（U-18） 準優勝）

■日時・対戦

<準決勝>

9月17日(土) 15:30 キックオフ 大商学園高校 対 JFA アカデミー福島

9月17日(土) 18:00 キックオフ セレッソ大阪堺ガールズ 対 十文字高校

<決勝>

9月19日(月・祝) 10:00 キックオフ

※第3位決定戦は行いません

■会場：

サンガスタジアム by KYOCERA（京都府／亀岡市）

※有観客／入場無料

■大会 HP

https://www.jfa.jp/match/u18womensfinals_2022/

■放送・配信

JFATVにて準決勝・決勝ともに LIVE 配信を実施予定です。

詳細は決定次第、大会 HP にてご案内いたします。



JFA U-18 WOMEN'S FOOTBALL FINALS 2022

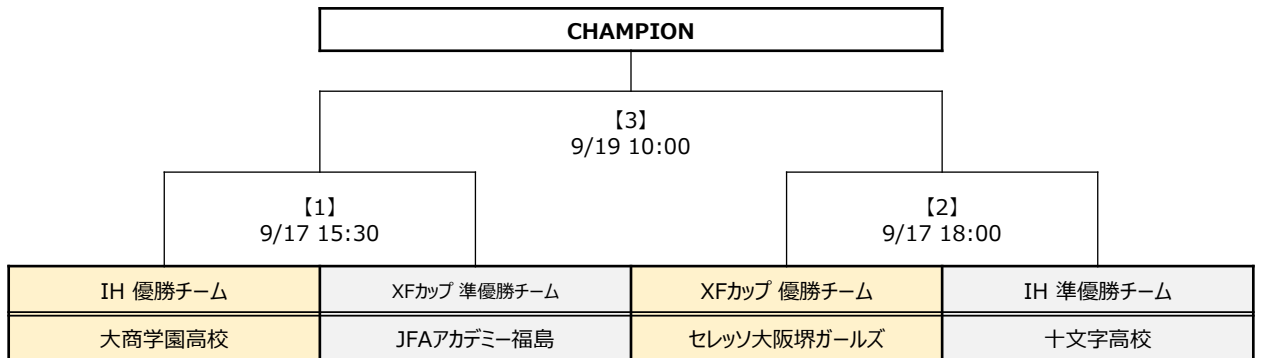
JFA U-18 女子サッカーファイナルズ 2022

1) 出場チーム

①IH 優勝チーム	大商学園高校
②IH 準優勝チーム	十文字高校
③XFカップ 優勝チーム	セレッソ大阪堺ガールズ
④XFカップ 準優勝チーム	JFAアカデミー福島

2) トーナメント

*会場：サンガスタジアム by KYOCERA(京都府／亀岡市)



大商学園高校



セレッソ大阪堺ガールズ



JFAアカデミー福島



十文字高校

皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会



皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会

日程、会場およびキックオフ時間が決定。

決勝戦は2023年1月28日（土） ヨドコウ桜スタジアム
（大阪府大阪市）となりました

女子サッカーの日本一を決める「皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会」の日程、会場が決定しましたのでお知らせします。

ぜひ会場に足を運んでいただき、応援ください！

■大会HPもオープンしました！

https://www.jfa.jp/match/empressscup_2022/

大会概要

名称

皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会

主催

公益財団法人日本サッカー協会

主管

一般社団法人宮城県サッカー協会、公益社団法人栃木県サッカー協会、一般社団法人福井県サッカー協会
一般財団法人静岡県サッカー協会、一般社団法人三重県サッカー協会、一般社団法人京都府サッカー協会
一般社団法人大阪府サッカー協会、一般社団法人兵庫県サッカー協会、一般財団法人鳥取県サッカー協会
公益財団法人広島県サッカー協会、一般社団法人宮崎県サッカー協会

後援

朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社

協賛

JFA Youth & Development Official Partner
トヨタ自動車株式会社、ニチバン株式会社、株式会社モルテン

試合日程

【1回戦】11月26日（土）、27日（日）

【2回戦】12月3日（土）、4日（日）

【3回戦】12月10日（土）、11日（日）

【4回戦】12月17日（土）、18日（日）

【準々決勝】2023年1月15日（日）

【準決勝】2023年1月22日（日）13:00／16:00キックオフ（予定）

【決勝】2023年1月28日（土）15:00キックオフ（予定）

会場

[会場はこちら](#)

参加チーム

48チーム

WEリーグ所属 11チーム、なでしこリーグ1部所属 12チーム

北海道 2チーム、東北 1チーム、関東 7チーム、北信越 1チーム、東海 4チーム

関西 2チーム、中国 4チーム、四国 1チーム、九州 3チーム

競技方法

48チームによるノックアウト方式（3位決定戦は行わない）

【開催の様子をご紹介します】



◆GOODLY SPORTS CLUB（埼玉県）8月20日（土）

日時：8月20日（土）16:30-18:00

会場：SOLumコミュニティーフィールド

参加者：16名（内訳：幼児1名、小学生13名、中学生2名）

参加費：無料

指導者：服部宣明（B級・キッズリーダー）

内容：カテゴリーを超えてみんなで楽しくプレーできることを目的とした構成。

《W. up》ボールを使ったストレッチなど

《TR1ドリブル》①コミュニケーションをとる ②周りを見ながらスピードや方向を変化させる

《TR2スモールゲーム 4vs4》

《TR3ボールチェンジゲーム》テニスボール、スポンジボール、サッカーボールを使い、コーチの合図で試合中にボールやボールの数が変わるゲーム

7月は悪天候で中止となり、2ヶ月ぶりの開催となりました。夏休み期間中の開催で各チームの活動が充実している為、参加者が少ないのでは無いかという懸念もありましたが、16名もの子どもたちが参加してくれました。

集合の後、コーチからの『今日は、“出来ない” “何これ分かんない” “やらない” は無し。どんなこともやってみてください！』でスタートしました。W. upやコミュニケーションをとるドリブルで、普段は一緒に活動しない学年や友だちと楽しそうにプレーする姿が見られました。みんなの雰囲気良くなってきたところで、ドリブルのTRを入れてスキルアップを目指し、少しだけ要求を高くしました。それでも最初のコーチの言葉の“出来ない” “何これ分かんない” “やらない” を言わないで一所懸命取り組んでくれていました。



最後のボールチェンジゲームでもプレーしにくいテニスボールやスポンジボールを使いましたが、嫌がるのではなく、逆に盛り上がってプレーしてくれていました。

今回は今まで以上に参加者が楽しそうにプレーしてくれていたのが印象的でした。終了後に「これまで他のイベントにも参加したことがありますが、一番楽しかった」というメールも頂きました。

参加して下さる皆さまや開催にご協力くださっている皆さまに感謝し、さらに女子サッカーの普及に貢献できるようクラブ及びスタッフ一同精進していきたいと思っております。



◆LFC. CLEMOR（富山県）8月29日（月）

8月のなでしこひろばは、ガールズゲーム北信越大会をLFC. CLEMORと一緒に参加してくれる小学生と、体験に来てくれた小学生、久しぶりに来てくれたOGの高校生も合わせて総勢24名で行いました。



中学生以上と小学生以下に分かれて、「パス & コントロール」をテーマにトレーニングを行いました。

最後のゲームでは初心者の小学生も久しぶりの高校生も楽しくゲームすることが出来ました。

【なでしこひろばデータをまとめてみました】

都道府県別認定団体数及び2022年8月開催申請数

都道府県	団体数	開催 申請数	都道府県	団体数	開催 申請数
1 北海道	16	5	25 滋賀県	7	1
2 青森県	5		26 京都府	8	4
3 岩手県	5	6	27 大阪府	19	2
4 宮城県	11		28 兵庫県	10	
5 秋田県	3		29 奈良県	3	
6 山形県	2		30 和歌山県	3	
7 福島県	2		31 鳥取県	7	5
8 茨城県	9	1	32 島根県	1	
9 栃木県	16	1	33 岡山県	11	5
10 群馬県	5	1	34 広島県	10	
11 埼玉県	37	1	35 山口県	2	
12 千葉県	12		36 香川県	8	
13 東京都	62	6	37 徳島県	5	2
14 神奈川県	24	1	38 愛媛県	4	
15 山梨県	6		39 高知県	2	
16 長野県	11	4	40 福岡県	13	
17 新潟県	7	1	41 佐賀県	6	1
18 富山県	4	2	42 長崎県	7	
19 石川県	6	4	43 熊本県	4	
20 福井県	5	1	44 大分県	5	
21 静岡県	13	2	45 宮崎県	3	1
22 愛知県	22	2	46 鹿児島県	2	
23 三重県	10		47 沖縄県	8	
24 岐阜県	5		合計	446	59

【2022年8月データ】

- ・全国登録団体数 : 446団体
- ・新規登録団体数 : 3団体
- ・認定団体数の全国トップ3
 - 1) 東京都 (62団体)
 - 2) 埼玉県 (37団体)
 - 3) 神奈川県 (24団体)
- ・全国開催申請数 : 59開催
(7月の開催申請数から22開催減)

少しずつ秋の気配が訪れ、過ごしやすくなってきました。台風や、依然としてコロナも心配ではありますが、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋など、皆様、楽しくお過ごしください！酷暑と、コロナ感染の再拡大の影響もあってか、8月の開催申請数はかなり減少しましたが、秋に向けて、ご無理のない範囲で開催をご検討いただけましたら幸いです。

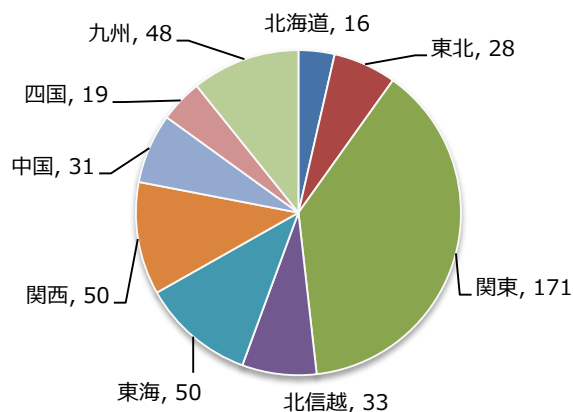
【事務局の受け付けが変更になっております】

2021年4月から、なでしこひろば事務局の受け付け・お問い合わせ方法をメールのみの対応とさせていただいております。これまでの電話受け付けがなくなり4月1日以降はメールのみの対応とさせていただきます。各団体様にはご不便をおかけいたしますが、何とぞご了承のほど重ねてお願い申し上げます。

E-mail : info@nadeshikohiroba.jp
(今までのアドレスと変更ありません)

地域別認定団体数

北海道	16カ所
東北	28カ所
関東	171カ所
北信越	33カ所
東海	50カ所
関西	50カ所
中国	31カ所
四国	19カ所
九州	48カ所
【合計】	446カ所



<http://www.jfa.jp/nadeshikohiroba/>

※次回は2022年10月11日（火）ごろ配信予定です。お楽しみに！